

## 旧車風に仕上げるツボ教えます! やっぱり初代ローライダーは旧車風ダイナの定番!

登場以来、絶大な人気を誇るローライダー。  
現行車でもポイントを押さえればこんなにキマる!

写真○増井貴光 Photos: Masui

取材協力○ハーレーダビッドソンレインボー (☎029-822-6666)

### フロント・フェンダー



フロント・フェンダーは、当時と同じフル・タイプに変更。スポークもまた、旧車風のイメージを引き立てる

### フロントまわり



フォーク・カバーを取り付け、オリジナル・モデルに付いているエンブレムを追加。ウインカーは、取り付け位置を当時と同じにした

# old



ホンモノよりも  
大きさに作るのも  
ポイントです



### シート



初代ローライダー風のシートは、HDレインボー・オリジナル。エッジを強調し、厚みはやや薄くしている

「旧車風にカスタムをするとなると、いかに忠実に自分の理想とする年代のモデルのカタチに近づけるかが重要と、思っ  
てしまいましたが、必ずしもそうとい  
うわけではありません」  
そう語るのは、ここで紹介する79年式  
のFXSローライダー風にカスタムした  
新車のダイナ・ローライダーを販売する  
「ハーレーダビッドソンレインボー」の  
天田昭治さん。  
この他に、77年式の初代ローライダー  
風ダイナもコンプリートとして販売して  
いる。どちらも、ポイントとなるのはカ  
ラーリングだ。  
細かなパーツ類は現行型のままで、当  
時のものに近づけたポイントをするだけ  
でも、グッと旧車っぽくすることができ  
る。確かに細部を見ていくと、フェンダ  
ーやフォーク・カバーなどは、オリジナ  
ルと同じデザインのモノも採用している  
が、当時のローライダーの忠実なレプリ  
カというわけではない。  
天田さんは、「全体的なイメージ」を  
強調するのが一番のポイントです」と説  
明する。  
「他に目を引く部分、例えばドラッグ・  
バーとか段付きのシートかな。この辺り  
を換えていくと、雰囲気がオリジナルの  
イメージと重なり、よりホンモノっぽく  
見えてくるんです。  
それともう一つポイントは、パーツの  
特徴的な部分を強調することです。シー  
トなどは当時のオリジナルのモノより、  
わざと大きなカタチにしているんです。  
これは、日本人の体形に合わせたって  
いうのもあるんですけど、やはり皆さん  
の頭の中には当時のイメージだけが強く  
残っていたりするので、印象の強い部  
分をディフォルメしてあげることで、実  
際のカタチとは違っても、イメージはオ  
リジナルに近づくんですね」

旧車風 & ドラッグスタースタイルをカッコよく仕上げるコツ

Tetsu-Uma Custom

- 旧車風
- ドラッグスタースタイル

好きな年代のカラーリングにするだけでイメージがガラッと変わりますよ



タンク



オリジナルにはAMFのロゴが入るが、あくまでこれは量産を意識しているの、現在でも手に入りやすいデカールをベースにした。細部にこだわるなら入れてもいい

ハンドルまわり



'80年代に入るとローライダーは、ドラッグバーではなくなるが、やはりイメージがコレということで、このスタイルに。グリップは、純正アクセサリパーツ



エア・クリーナー・カバー



'77年式モデルには、このタイプが付いていたが、その後のモデルではカタチが変わっている。これも、イメージ優先でこのタイプに。ただし、排気量の数字が現行1450ccなのがミン



'77FXSローライダー



HDLレインボー '05FXDL  
(カスタムコンプリート車両本体価格249万円)

まずは全体的な雰囲気  
旧車っぽくしていきますよ

ローライダーは、'77年式FXSの一つとしてデビューしたモデル。タンクは、グレーに赤字で書かれたロゴが特徴的だった。その後'79年に、今回ご紹介している新しいカラーリングが登場した。どちらも現行型ダイナ系の旧車風カスタムとして、現代でも絶大な人気がある。HDレインボーのコンプリート・マシンは、本物と比べると異なる部分もあるが、全体的なイメージは見事に“風”に仕上がっている。



# 旧車風 カスタム・サンプル



HDレインボーが製作するコンプリートのローライダーをベースに、全体をブラック塗装。見事にスタージスを模した



より本物に近づけるため、購入後'80年代に採用されていた1本出しに近い、アーム製マフラーに交換



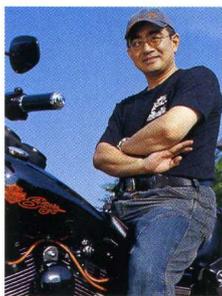
ベース車両は、'99年式のFXDWG。フロントまわりをそっくりローライダー用に交換してある



'80年代は、この部分がオイル・タンクだった。現在は電装系のカバーだが、ルックスをオイル・タンク風に



'80年式では、初めてベルト駆動を採用。当時と同じ「TWINBELT」のデカールをベルト・カバーに張って雰囲気を出した



「確れのバイクだったので、見つけた時はほとんど即決でしたね。細かい部分は購入後に自分で手を入れました」



シー・シー・バーの後ろに付けられたエンブレムは、'91年モデルに付いていたもの。「ジンギーズ」で購入

## レアな限定車をモチーフに オリジナルのアレンジを加えた

写真○増井貴光 Photos: Masui  
取材協力のハーレーダビッドソンレインボー (☎029-822-6666)

バイク・イベントで有名な、サウスダコタ州の地名が由来のスタージスは'80~'82年と、'91年に発売



「旧車風カスタムをする場合って、それぞれ自分のイメージとなる年式やモデルがあると思うんですね。私の場合、'80年に発売されたFXBスタージスだったんです」と語るのは、このバイクのオーナー、池田稔さん。

「いつかはほしいと思いつつも、年月が経ち、たまたま1年ほど前『ハーレーダビッドソンレインボー』に行った時、これを見つけたんです」

そのバイクは、'91年に発売されたスタージスをモチーフにしたもので、HDレインボー・オリジナルのシートやエアクリナー・カバーを装着。どちらも実は本物に忠実ではないのだが、同社のコンプリート・マシン（22歳）同様、イメージは「旧車風」に仕上がっている。

「購入後、気に入っている部分は残し、細かな部分を'80年代のものに変更。いいとこ取りで楽しんでいます」